

## 05 学校関係者評価のまとめ

\*学校関係者評価委員として、学校評議員様とPTA三役様にご意見をいただきました。

項目	学校関係者の主な意見	教育活動の充実に向かって
学びづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み・書き・そろばんと昔から言う。基礎学力を小学校のうちにしっかりと指導してほしい。</li> <li>○詩の暗唱は、よい。玉名学日本語の学習を続けてほしい。</li> <li>○読書は、意図的に計画して読ませてもよいと思う。また、調べ学習から読みにつなげていくこともできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇基礎的・基本的知識及び技能の確実な定着を図り、学力を付けていきます。</li> <li>◇今後も、朝の会等で、豊かな感性と表現力を育んでいきます。</li> <li>◇読書週間や親子読書等に、期間を決めて、家庭においても本に親しむようにしていきます。</li> </ul>
心づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帰りの会での「いいところさがし」は、とてもいいと思う。今後も続けてほしい。</li> <li>○「学校に行くのが楽しい。」「友だちとなかよく生活している。」の項目で「1」の評価の児童がいる。「1」の評価の児童がどうのような考え方を持っているかを把握し、対応してほしい。</li> <li>○今後も、高齢者や障害者の擬似体験することが大切である。自分と同じ感覚で相手を見ている。どのような声かけや支援が必要かを気付かせていくことが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇今後も、帰りの会でいいところさがしに取り組み、児童の自尊感情を高め、なかまづくりを行っていきます。</li> <li>◇評価の低かった児童の思いを教育相談等で把握し、指導・支援をします。一人一人の児童に目配りや気配りをして、児童の思いや願い、悩み等に気付き、寄り添い、児童が生き生きと輝き、心の居場所がある学校・学級づくりに取り組みます。</li> <li>◇児童が多様性を認め、様々な方々に対して思いやりの心をもって接することができるよう体験活動等を通して、自他を尊重する態度を育成していきます。</li> </ul>
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校では、好き嫌いなく給食を食べるが、家では食事の好き嫌いがある。保護者が参加し学ぶ給食センターの勉強会等があつてもよいのではないかと思う。</li> <li>○母親も仕事をしている家庭が多く、時間がないこともあり、児童が好きそうな食事を作っている。</li> <li>●世の中には、遅くまで、テレビゲームやスマートフォンでゲームをしたり、ユーチューブを見たりしている児童や生徒がいる。色々な有害なサイトにつながることが心配である。これからの時代は、メディアの活用は、切っても切れないものである。使わせて、教えるなど児童にもメディアに対する教育が必要である。スマートフォン等のメディアをいかに学習に転化させていくかが重要である。</li> <li>●登下校時の保護者の送迎を見ることがある。本来は、登校班で一緒に登下校する方がよい。</li> <li>●自転車の一時停止をしないで飛び出していく児童がいる。飛び出さないように指導してほしい。</li> <li>○自転車の乗る範囲は、家庭でルールを作つて、範囲を決めてよいと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇今後も、給食と関係した食に関する指導の充実を図り、給食センターと連携して、指導を行ったり、作物を栽培したりする学習を充実して、児童に食に対する重要性を更に認識させていきます。</li> <li>◇今後も、テレビゲームやスマートフォン、タブレット、パソコン等の使用時間等については、家庭でルールを作つて適切に対応していただくよう依頼をしていきます。また、学校では、今後も、情報モラル教育を充実させていきます。</li> <li>◇今後も、特別な事情がない限り、登校班で歩いて登下校するよう家庭に依頼します。</li> <li>◇今後も、交通教室、学活や朝の会、帰りの会等で児童が飛び出しをせず、安全に自転車に乗れるように安全指導を徹底します。</li> <li>◇自転車に乗る範囲については、家庭でルールを作つていただくよう依頼します。また、改めて4月にPTA役員会で協議します。</li> </ul>
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童虐待についての保護者の研修が必要と思う。厳しさも必要であるが、言葉での理解が得意な児童と視覚的に見た方が得意な児童といふ。児童が、どんなふうにしたらわかるのかを考え、その子に応じた指導の仕方が必要である。</li> <li>○授業中に「くん」「さん」をつけて呼び合うことがあるが、仲がよくなるほど、敬称がなくなるのではないかと思う。TPOで使い分けできる力が大切である。</li> <li>○トイレは、洋式が少ない。家庭が洋式であるので、洋式を増やした方がよいのではないかと思う。衛生面で洋式を使いたがらない人もいるので、和式を完全にくするのは避けた方がよい。</li> <li>○保護者も児童が下校する姿を見てほしい。時には、通学路以外を通っている児童もいるようだ。保護者にも青色パトロールカーに乗つて児童の下校の様子を見るはどうだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童への家庭教育のあり方等を学校からも情報提供を行います。また、PTA教育講演会等での研修も検討します。</li> <li>◇授業中は「くん」「さん」をつけて呼び合うように今後も指導します。その他は、呼ばれる相手が嫌な思いをしない範囲内で、時と場に応じて呼び合うように指導します。</li> <li>◇洋式と和式トイレのあり方については、教育委員会等と相談し、検討していきます。</li> <li>◇青色パトロール講習会でPTA役員の方には、パトロールカーに乗つていただいています。保護者にも下校の様子を見ていただく機会を検討します。</li> </ul>